

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～ 米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／ 日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／ トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／通貨セレクト・コース(毎月分配型)

分配金のお知らせ

2013年3月12日

平素は、『ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2013年3月12日に決算を迎え、「ブラジル・リアル・コース」につきましては、分配対象額の水準などを総合的に勘案し、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前)を前回決算の140円から100円に引き下げました。一方、「トルコ・リラ・コース」および「通貨セレクト・コース」につきましては、基準価額の水準などを総合的に勘案し、「トルコ・リラ・コース」については100円から130円に、「通貨セレクト・コース」については100円から140円に、引き上げることと致しました。

「米ドル・コース」、「豪ドル・コース」、「日本円・コース」および「南アフリカ・ランド・コース」の分配金額につきましては、前回決算と同額と致しました。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《各コースの分配金(1万口当たり、税引前)》

	米ドル・コース	豪ドル・コース	ブラジル・リアル・コース	日本円・コース	南アフリカ・ランド・コース	トルコ・リラ・コース	通貨セレクト・コース
当期決算 分配金	50円	100円	100円	50円	90円	130円	140円
(前回決算 分配金)	50円	100円	140円	50円	90円	100円	100円
設定来 分配金合計額	1,250円	2,500円	3,740円	1,350円	540円	630円	640円
基準価額 2013年3月12日現在	11,940円	12,182円	8,867円	10,431円	11,550円	12,690円	12,881円

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q1 なぜ、「ブラジル・リアル・コース」の分配金が引き下げられたのですか？

「ブラジル・リアル・コース」の分配金を引き下げましたのは、分配対象額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

ブラジルの金利低下で為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が低下したことや債券ポートフォリオの利回りの低下などを背景に当ファンドの配当等収益(1万口当たり、経費控除後)は減少し、当期では94円となっています。収益分配金のうち、期中に得られる配当等収益を超える額は過去の蓄積等からなる「分配準備積立金」および「収益調整金」を充当してまいりました。その結果、分配対象額が減少したため、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。なお、当期の分配対象額(1万口当たり、分配金支払い前)は490円となっています。

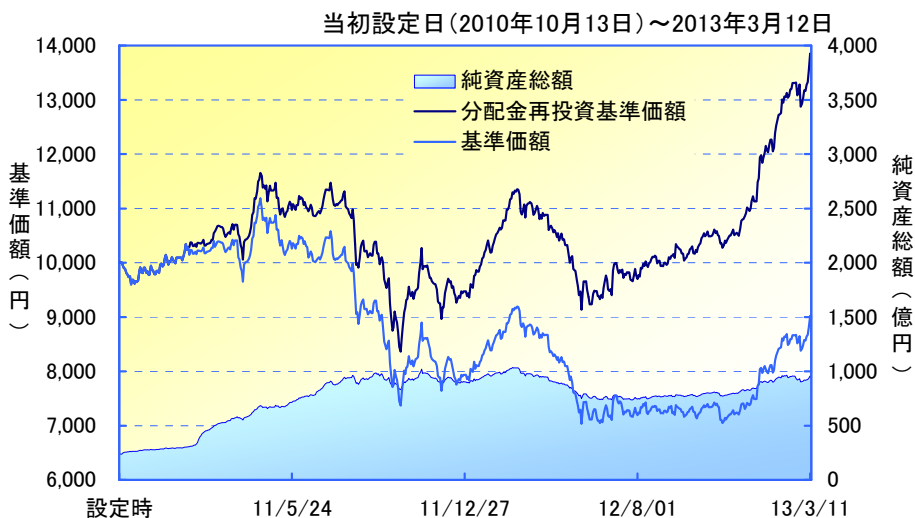
《基準価額・純資産・分配の推移》

2013年3月12日現在

基準価額	8,867円
純資産総額	940億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～24期	合計:	3,080円
第25期	(12/11/12)	140円
第26期	(12/12/12)	140円
第27期	(13/1/15)	140円
第28期	(13/2/12)	140円
第29期	(13/3/12)	100円
分配金合計額	設定来:	3,740円
	直近5期:	660円



分配対象額(1万口当たり、分配金支払い前)の状況 ※円未満は四捨五入しています。

決算期 決算日	第18期 (12/4/12)	第19期 (12/5/14)	第20期 (12/6/12)	第21期 (12/7/12)	第22期 (12/8/13)	第23期 (12/9/12)
分配対象額(分配金支払い前)	1,064円	1,036円	986円	939円	882円	825円

決算期 決算日	第24期 (12/10/12)	第25期 (12/11/12)	第26期 (12/12/12)	第27期 (13/1/15)	第28期 (13/2/12)	第29期 (13/3/12)
分配対象額(分配金支払い前)	766円	699円	628円	567円	524円	490円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《分配方針》

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《短期金利と為替市場の動向》

■ 短期金利

ブラジル中央銀行は、3月の金融政策委員会(Copom)で政策金利を7.25%で据え置きました。声明文では「マクロ経済の状況やインフレ見通しから判断し、全会一致で政策金利を7.25%に据え置くことを決定した。マクロ経済の状況を次回会合まで監視し、金融政策の方向性を明らかにする」とし、「現行の政策金利を可能な限り長期間据え置き」としていた前回までの内容から、ややインフレを警戒するスタンスへと変化が生じました。足元では、利上げ期待から金利上昇圧力は高まっており、利上げ時期をめぐって短期債を中心に上下に振れやすい展開を想定しています。

■ 為替市場

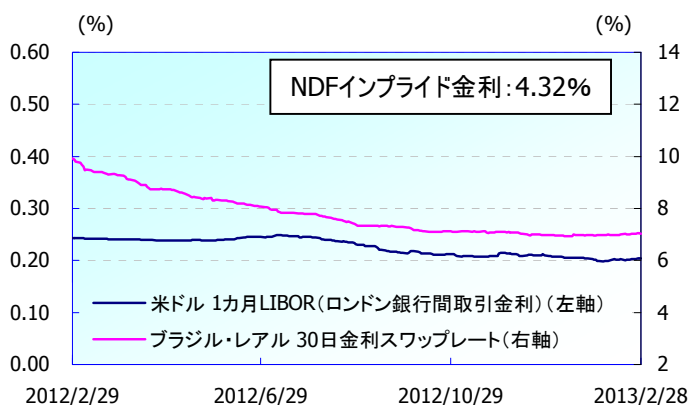
足元、インフレ率が上昇したことや、グローバルな投資環境が好転したことなどがリアル買いを後押ししました。一方、良好な米国経済指標を受けて対米ドルで円安が進んだため、リアルは対円で上昇しました。投資環境が好転していることから、リアルは底堅く推移する展開を想定しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

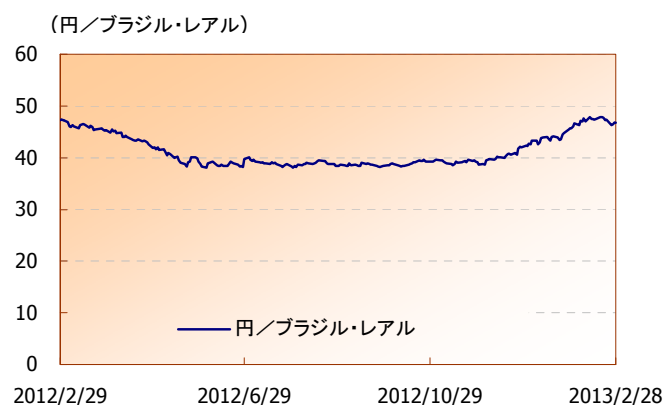
《参考》市況データ

2012年2月29日～2013年2月28日

短期金利の推移



為替の推移



※ブラジル・リアルは規制通貨であり、当該通貨を用いず米ドル等で差金決済を行なうNDF取引等を行なうことがあります。その場合、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は需給等により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※NDFインプライド金利は、NDFの取引価格から想定される金利です。

※NDFインプライド金利は日々の変動が大きいので、基準日時点での20日移動平均を表示しています。

(出所:ブルームバーグ)

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q2 なぜ、「トルコ・リラ・コース」の分配金が引き上げられたのですか？

「トルコ・リラ・コース」の分配金を引き上げましたのは、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

当ファンドの分配金再投資基準価額は設定時と比べて当期末(2013/3/12)までで34.05%上昇し、13,405円となっています。また、当期の分配対象額(1万口当たり、分配金支払い前)は2,820円、配当等収益(1万口当たり、経費控除後)で114円となっています。

このような状況を総合的に勘案し、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前)を従来の100円から130円に引き上げることと致しました。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※「期間別騰落率」の計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

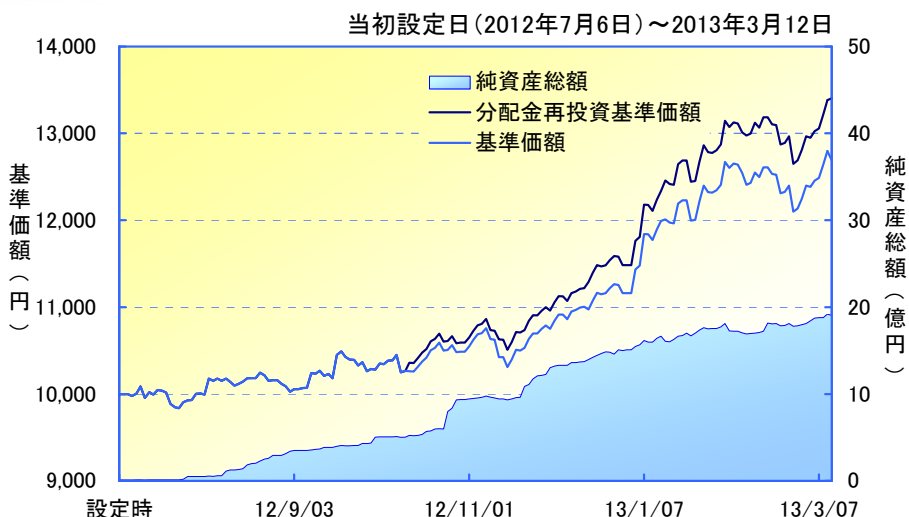
《基準価額・純資産・分配の推移》

2013年3月12日現在

基準価額	12,690円
純資産総額	19億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～3期	合計:	100円
第4期	(12/11/12)	100円
第5期	(12/12/12)	100円
第6期	(13/1/15)	100円
第7期	(13/2/12)	100円
第8期	(13/3/12)	130円
分配金合計額	設定来:	630円
	直近5期:	530円



分配対象額(1万口当たり、分配金支払い前)の状況 ※円未満は四捨五入しています。

決算期 決算日	第1期 (12/8/13)	第2期 (12/9/12)	第3期 (12/10/12)	第4期 (12/11/12)	第5期 (12/12/12)	第6期 (13/1/15)
分配対象額(分配金支払い前)	139円	219円	361円	525円	1,074円	2,112円

決算期 決算日	第7期 (13/2/12)	第8期 (13/3/12)
分配対象額(分配金支払い前)	2,509円	2,820円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《分配方針》

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《短期金利と為替市場の動向》

■ 短期金利

トルコ中央銀行は2月の金融政策決定会合で、政策金利は5.50%で据え置きましたが、投機資金の流入や通貨高の抑制を目的に、短期金利の上限・下限である翌日物貸出金利と翌日物借入金利をそれぞれ0.25%ポイント引き下げました。

金融政策決定会合の声明文でも示されているように、国内での信用供給は大幅な拡大を続けており、景気は堅調に推移している可能性が高いと考えられます。インフレについても1月は天候要因により一時的に大幅な加速となりましたが、中央銀行がインフレの安定に強い自信を見せていることやコア・インフレが安定的に推移していることからインフレ上昇圧力は後退していると考えられます。また、経常収支についても2012年は大幅な改善を遂げており、トルコのファンダメンタルズの健全性は高まりつつあると考えられます。

■ 為替市場

2月後半にイタリアの総選挙でいずれの政党も単独で過半数を獲得できなかったことから先行きの不透明感が高まり、ユーロが下落したことに連れてトルコ・リラは対円で下落する局面もありましたが、足元では上昇に転じています。

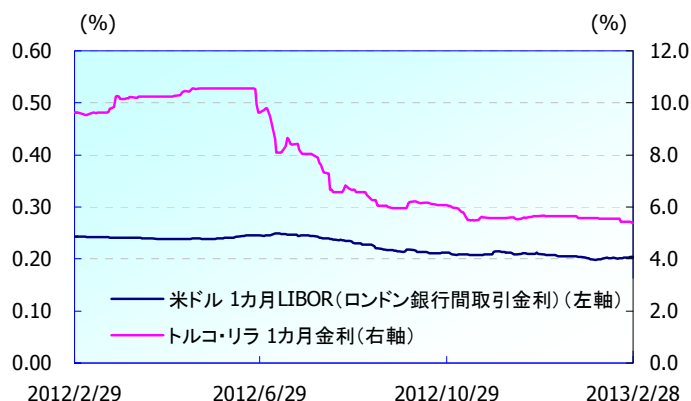
インフレや経常収支の改善が継続すれば、トルコ・リラは堅調に推移すると想定しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

《参考》市況データ

2012年2月29日～2013年2月28日

短期金利の推移



為替と利回りの推移



※トルコ・リラ1か月金利は、トルコ・リラ市場参照金利1か月のデータを使用しています。

(出所:ブルームバーグ)

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q3 なぜ、「通貨セレクト・コース」の分配金が引き上げられたのですか？

「通貨セレクト・コース」の分配金を引き上げましたのは、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

当ファンドの分配金再投資基準価額は設定時と比べて当期末(2013/3/12)までで36.03%上昇し、13,603円となっています。また、当期の分配対象額(1万口当たり、分配金支払い前)は3,021円、配当等収益(1万口当たり、経費控除後)で105円となっています。

このような状況を総合的に勘案し、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前)を従来の100円から140円に引き上げることと致しました。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※「期間別騰落率」の計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

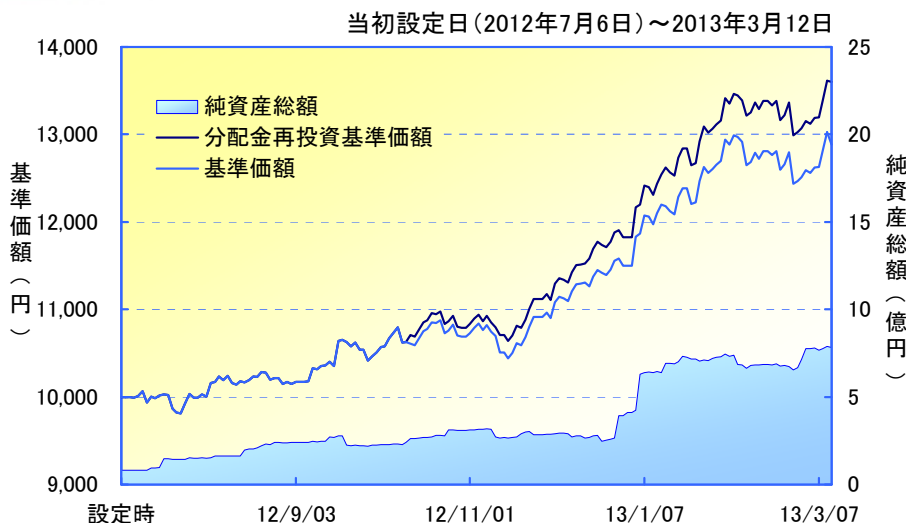
《基準価額・純資産・分配の推移》

2013年3月12日現在

基準価額	12,881円
純資産総額	7億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～3期	合計:	100円
第4期	(12/11/12)	100円
第5期	(12/12/12)	100円
第6期	(13/1/15)	100円
第7期	(13/2/12)	100円
第8期	(13/3/12)	140円
分配金合計額	設定来:	640円
	直近5期:	540円



分配対象額(1万口当たり、分配金支払い前)の状況 ※円未満は四捨五入しています。

決算期 決算日	第1期 (12/8/13)	第2期 (12/9/12)	第3期 (12/10/12)	第4期 (12/11/12)	第5期 (12/12/12)	第6期 (13/1/15)
分配対象額(分配金支払い前)	161円	357円	707円	674円	1,366円	2,280円
決算期 決算日	第7期 (13/2/12)	第8期 (13/3/12)				
分配対象額(分配金支払い前)	2,750円	3,021円				

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金額は、決算の都度、収益配分方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《分配方針》

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《選定通貨について》

当ファンドが投資対象とする外国投資信託(JP モルガン トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド 通貨セレクト・クラス)における選定通貨の運用方針は、以下のとおりです。

- ・原則として、シティグループ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に5つの通貨を選定します。
- ・選定通貨の見直しは毎月行ないます。
- ・選定通貨の投資比率は、金利の高い方から順に30%、30%、20%、10%、10%程度で維持することを基本とします。なお、選定通貨のうち、金利が米ドルの金利より低い通貨には投資しません。

当ファンドが投資対象とする外国投資信託(JP モルガン トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド 通貨セレクト・クラス)の投資顧問会社であるJ.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが選定した5通貨は以下のとおりです。

＜2月＞		＜3月＞	
選定通貨	投資比率	選定通貨	投資比率
インド・ルピー	30%	インド・ルピー	30%
ロシア・ルーブル	30%	ロシア・ルーブル	30%
チリ・ペソ	20%	南アフリカ・ランド	20%
南アフリカ・ランド	10%	チリ・ペソ	10%
ハンガリー・フォリント	10%	ハンガリー・フォリント	10%

※上記の選定通貨の投資比率は、実際の為替取引比率とは異なる場合があります。

《参考》市況データ

短期金利の水準

(2013年2月28日時点)

インド・ルピー NDFインプライド金利	7.28%
ロシア・ルーブル NDFインプライド金利	6.02%
チリ・ペソ NDFインプライド金利	5.83%
南アフリカ・ランド 1カ月JIBAR	4.99%
ハンガリー・フォリント 1カ月BUBOR	5.25%

※NDFインプライド金利は、NDFの取引価格から想定される金利です。

※NDFインプライド金利は日々の変動が大きいので、基準日時点での20日移動平均を表示しています。

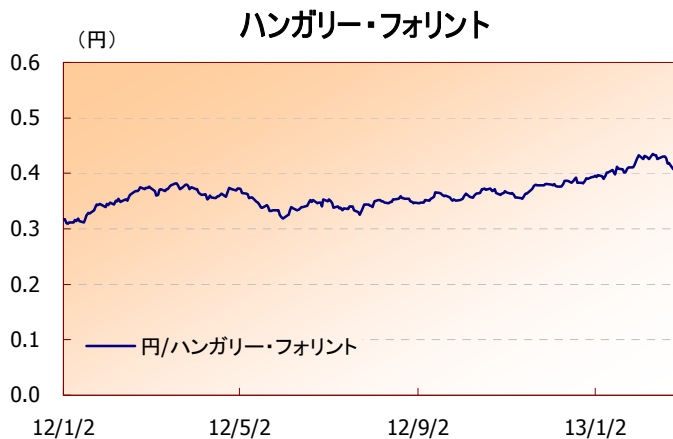
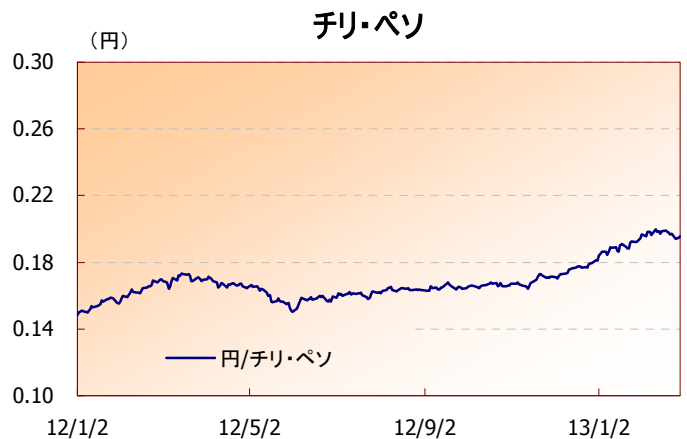
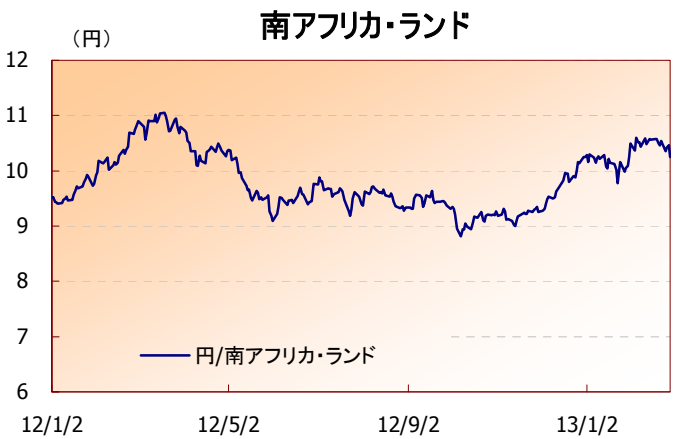
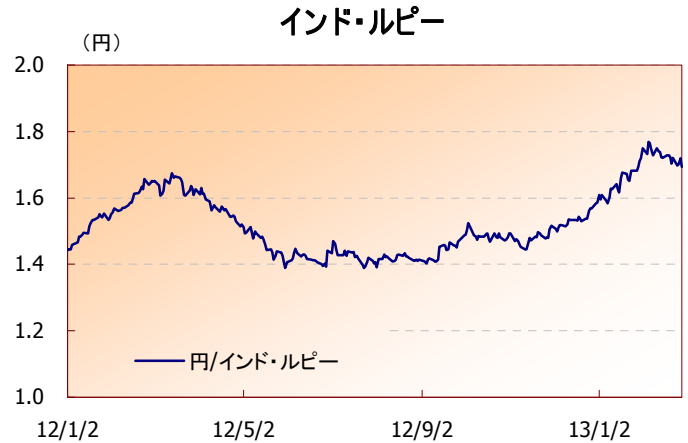
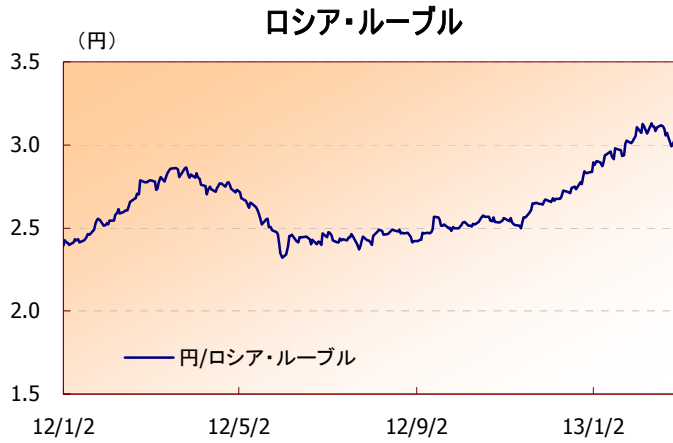
※為替取引に関する規制が多い新興国通貨の場合、当該通貨を用いず米ドル等で差金決済を行なうNDF取引等を行なうことがあります。その場合、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は需給等により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

(出所:ブルームバーグ)

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《参考》為替の推移

2012年1月初～2013年2月末



(出所:ブルームバーグ)

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

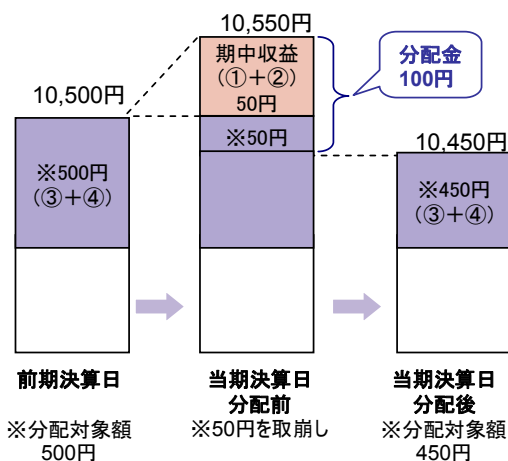
投資信託の純資産

分配金

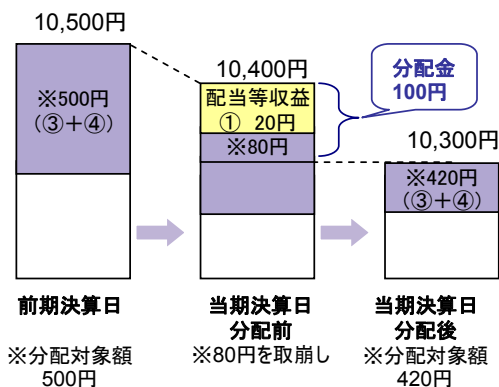
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



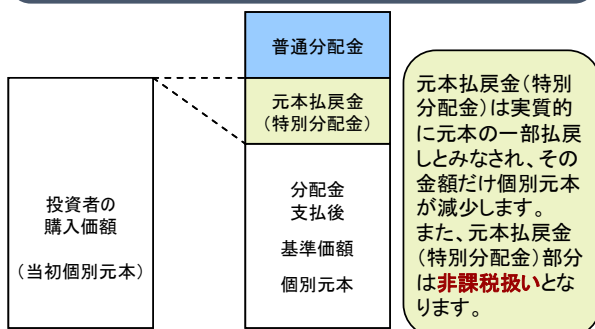
前期決算日から基準価額が下落した場合



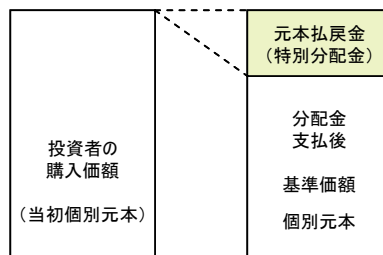
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

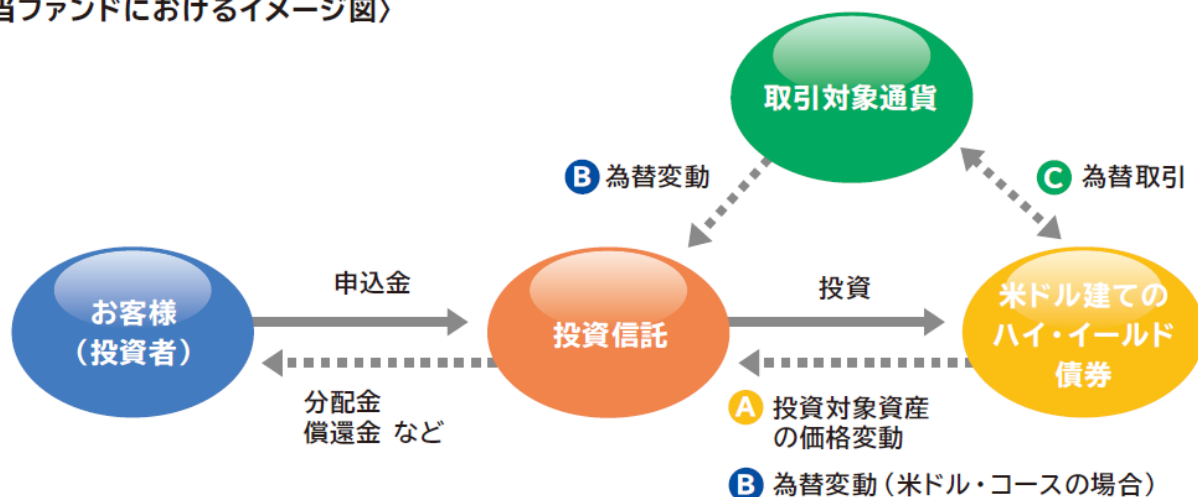
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

〈当ファンドにおけるイメージ図〉



- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

収益の源泉	=	A 米ドル建てのハイ・イールド 債券の利子収入、 値上がり/値下がり	+	B 為替差益/差損	+	(注) C 為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用)
収益を得られる ケース		・金利の低下 債券価格の上昇、利子収入		・円に対して取引対象通貨高 ・円に対して米ドル高 (米ドル・コースの場合) 為替差益の発生		取引対象通貨 > 米ドルの 短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが 発生する ケース		債券価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化		・円に対して取引対象通貨安 ・円に対して米ドル安 (米ドル・コースの場合) 為替差損の発生 ※日本円・コースを除きます。		取引対象通貨 < 米ドルの 短期金利 コスト (金利差相当分の費用) の発生 ※米ドル・コースを除きます。

(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～
米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／
トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての高金利社債^(※)に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

(※)以下「ハイ・イールド債券」といいます。

ファンドの特色

1. 米ドル建てのハイ・イールド債券に投資します。
2. 為替取引の対象通貨が異なる7つのコースがあります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
米ドル・コース	為替取引を行いません。	なし(注1)
豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル(注2)
ブラジル・リアル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル(注2)
日本円・コース	為替ヘッジを行いません。 (米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買い(注3))	日本円
南アフリカ・ランド・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買い	南アフリカ・ランド(注2)
トルコ・リラ・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買い	トルコ・リラ(注2)
通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨(注4)買い	選定通貨(注2)

※7つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

(注1)円に対して米ドル高となった場合、基準価額の上昇要因となります。円に対して米ドル安となった場合、基準価額の下落要因となります。

(注2)円に対して取引対象通貨高となった場合、基準価額の上昇要因となります。円に対して取引対象通貨安となった場合、基準価額の下落要因となります。

(注3)為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

(注4)選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいいます。

原則として、シティグループ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に5つの通貨を選定します。

なお、選定した通貨のうち、投資顧問会社が為替取引を行なうことができない通貨があった場合、投資顧問会社は次に金利が高い通貨を選定します。

米ドルを選定する場合、米ドル部分に対する為替取引は行いません。

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称	
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)	米ドル・コース (毎月分配型)	米ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	豪ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)	日本円・コース (毎月分配型)	日本円・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)	トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	トルコ・リラ・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	通貨セレクト・コース

◆各ファンドの総称を「ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～」とします。

3. 毎月12日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。
4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

◆J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用する外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行いません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～
米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／
トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※日本円・コースにおいては、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は、 3.15%(税抜3.0%) です。 スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料を徴収している販売会社はありません。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率1.134%(税抜1.08%) ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする投資信託証券	(米ドル・コース) --- 年率0.58%程度 (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外) --- 年率0.59%程度 (通貨セレクト・コース) ---純資産総額に応じて 100億円以下の部分： 年率0.74%程度 100億円超の部分： 年率0.69%程度
実質的に負担する運用管理費用	(米ドル・コース) 年率1.714%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外) 年率1.724%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (通貨セレクト・コース) 年率1.874%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会